

ボランティア ガイドブック



豊中市立養護老人ホーム永寿園とよなか

特別養護老人ホーム永寿園とよなか

えいじゅ・とよなか保育園



1、永寿園とよなかへようこそ

2、永寿園とよなかでボランティア活動をされる方へ

- ① オリエンテーション
- ② ボランティア活動の登録について
- ③ ボランティア保険の加入について
- ④ ボランティア活動に入る前に
- ⑤ ボランティアルームの使用について

3、永寿園とよなかのボランティアメニュー

特別養護老人ホーム
特別養護老人ホーム ショートステイ
養護老人ホーム
えいじゅ・とよなか保育園

4、永寿園とよなかでボランティア活動するにあたってのお願い

5、永寿園とよなかのボランティア担当について

6、永寿園とよなかの入居者・利用者への対応のポイントなど

7、永寿園とよなかの施設案内

1、永寿園とよなかへようこそ

永寿園とよなかでのボランティア活動を、希望していただいた皆様はじめまして。永寿園とよなかでは「地域に開かれた施設作り」を目指し、ボランティアの受け入れを積極的に行っております。永寿園とよなかへ1歩、足を踏み出して下さったことに、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。永寿園とよなかには、ボランティアの来荘を心待ちにしておられる入居者様がたくさんおられます。永寿園とよなかには、ボランティアの来荘を頼りになるパートナーとして心待ちにしている職員もたくさんいます。ボランティアと職員は入居者の笑顔で繋がっています。永寿園とよなかへようこそ。



2、永寿園とよなかでボランティア活動をされる方へ

① オリエンテーション

永寿園とよなかでは、ボランティアとの出会いを大切にし、ボランティアとまずオリエンテーションを持たせていただいております。その際に、ボランティア活動についての内容の希望や、活動の日程、不安に思うこと等どんなことでもけっこうですのでお話ください。それは、ボランティア活動が始まってからも同じです。ボランティア活動中の感想や不安に思うことも遠慮なくおっしゃってください。日頃からボランティアとのコミュニケーションを大事にしております。いろいろな話をお聞かせください。

② ボランティア活動の登録について

ボランティア登録カードを記入してください。所定の用紙（ボランティア登録カード）にご記入の上、提出してください。不明な箇所をご一緒に相談しながら記入することもできます。

③ ボランティア活動保険の加入について

永寿園とよなかでボランティア活動をされる方に、安心して活動していただけるように「ボランティア活動保険」に加入していただけます。加入を希望される方は施設職員までお申し出ください。

④ ボランティア活動に入る前に

来園時にしていただくこと

- ・ 正面玄関（緑色の入り口）からお入りください
- ・ 洗面にて“うがい・手洗い”を必ず行ってください。
- ・ 事務所受付にて必ず検温していただきます。
（事務所職員にお声を掛けてください。体温計をお貸しします。）
※体調の悪い方や風邪症状等のある方は活動をご遠慮ください。
- ・ インフルエンザ等の感染症予防の為、必要に応じてマスクの着用をお願いする場合があります。



**うがい、手洗い、アルコール消毒、
検温をお願いします！**

⑤ ボランティアルームの使用について

ボランティアルームへどうぞ

地域交流室のボランティアロッカーにて活動の用意をしていただきます。
初めての活動の際にご案内しますので安心してください。

- ・ 名札

初回活動時にお渡しします。

入居者様の混乱を避けるため、職員と色分けした名札になっておりますのでご協力をお願い致します。

- ・ 服装

活動しやすい服装でお願いします。

また、貴重品は持って来られないようにお願いします。

活動の中止（日程変更）について

安全に活動ができないと施設が判断した場合には、前日までに中止（日程変更）の連絡をさせていただきます。問い合わせも遠慮なくなさってください。活動が急に中止になる場合もありますが、ご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

- ・ 施設での行事と日程が重なった時
- ・ インフルエンザ等の感染症の予防時
- ・ 大雨警報や暴風警報等の悪天候時
- ・ その他諸事情により止むを得ない時



⑥ 地域交流室の使用について

荷物については、地域交流室のロッカーをご利用いただけます。
鍵を携帯したままの活動は、地域交流室の使用の妨げになりますので鍵の返却は確実にお願いします。

○ 活動の意見・要望をお聞きする場として・・・

ボランティア活動をされている中で、気づいた点やご要望、感想等を「活

動報告書」にご記入いただくようお願い致します。些細なことでも結構ですので、何か伝達事項がありましたら、遠慮なくご連絡下さい。

○ 情報の発信の場として・・・

玄関に各種行事の案内やボランティア活動の募集案内、各種パンフレット、豊中市の広報・永寿園とよなかの広報誌等を設置させていただいております。ご自由にお持ち帰りください。

○ 貴重品の保管について

貴重品は持って来られないようにお願いします。

○ 駐車（駐輪）スペースについて

車でお越しになった方は“来客用”の駐車スペースへ停めてください。自転車やバイクでお越しになった方は、指定の場所に整列して駐輪してください。

○ その他

- ・ 入居者が部屋に間違っ入って来られることがあるので、退室時は必ず鍵をかけるようにお願いします。
- ・ お帰りの際は、整理・整頓をお願いします。
- ・ ごみは分別して所定のごみ箱に捨ててください。



3、永寿園とよなかのボランティアメニュー

・ クラブ活動の講師やお手伝い

クラブは 1 階：地域交流スペースや、2 階の特養ユニットにて開催されています。講師や活動の用意や片付けの他に、クラブ活動へ参加される入居者の方を、活動場所への誘導のお手伝いいただきます。

・ 入居者さんの見守りや話し相手(傾聴ボランティア)

ユニットで職員の指示のもと、お手伝いをさせていただいています。

・ 各種行事のお手伝い

季節ごとの行事のお手伝いや、祭りのアトラクションとして参加もさせていただいております。

・ その他

ボランティア活動メニューについても、随時、ご相談をお受けしております。(希望に添えない場合もあります。ご了承ください)



4、永寿園とよなかでボランティア活動するにあたってのお願い

- ・誓約書の提出をお願い致します。活動中に知り得た入居者・利用者の個人情報については、他言しないようお願い致します。
- ・入居者・利用者と金銭、物品、写真等のやり取りもしないようお願い致します。
- ・施設内での、政治・宗教的な活動はご遠慮ください。
- ・できないことは無理をせず、できない旨を必ずお伝えください。
- ・入居者・利用者から、頼まれごとをされた場合はトラブルになる可能性もある為、その場で対応されずに、職員にご相談ください。
- ・交通費等は自己負担にてお願い致します。
- ・永寿園とよなかの趣旨とそぐわない活動や言動をされるボランティアは活動を辞めていただくことがあります。
- ・入居者・利用者がケガをした時は、軽症であってもすぐ職員に報告してください。「いつ・どこで・なにをされていて・どうなった」と詳しくご報告をお願い致します。
- ・地震や火災の際は、施設内の一斉放送に注意し、職員の指示に従い、決して自分の判断で行動しないようお願い致します。
- ・活動中の様子等を撮影する場合は、予め職員に申し出いただき、許可をとり、その際は入居者・利用者が写真に写らないようお願い致します。
- ・活動をお休みされる時はご連絡をお願い致します。

容易に行えると思ったことも、単独で勝手な活動はご遠慮ください。
不明な点や困ったことが起きた場合は、小さなことも職員にお聞きいただき、常に職員の指示に従って安全なボランティア活動を行ってください。

5、永寿園とよなかのボランティア担当について

永寿園とよなかでは職員が担当につき、ボランティア活動のサポートをさせていただきます。また、各クラブには、クラブごとに担当の職員がつき、安心して安全な永寿園とよなかでのボランティア活動を職員が一丸となり受け入れ、サポートさせていただきます。指導や相談等もボランティア担当で承っております。



6、永寿園とよなかの入居者・利用者への対応のポイントなど

永寿園とよなかは全室個室のユニットケアを行っています。

ユニットケアは、それぞれの入居者・利用者が、それぞれに望む暮らしをサポートする個別ケアのひとつの方法です。

ユニットケアが“大切にしていること”は「介護が必要な状態になっても、ごく普通の生活を営むこと」です。今までの暮らし方の継続を基本としながらサポートしていきます。毎日の生活には、他の入居者・利用者と話をしたり、趣味の活動、美容院へ出かけたり、喫茶店を利用したりとその人のペースでの暮らしが営まれ、ごく普通の暮らしが送れるようにサポートしていきます。外へ出ることが辛くなってきたとしても、永寿園とよなかの中で、地域を感じることできます。

そんな入居者・利用者とボランティアとして関わりを持っていただく際のポイントをお伝えさせていただきます。

接し方についてのポイント

安全第一で、ケガや事故のないように気をつけましょう。

永寿園とよなかはユニットで一人一人の暮らしを支えるケアを行っています。ユニットは生活の場です。ユニットやお部屋に入られる時は、「こんにちは」「失礼します」等のあいさつをお願いいたします。入居者・利用者のプライバシーを大切に、言動にも注意してください。プライドを傷つけることがないように気をつけてください。頼まれたことを全てするのが「優しさ」ではありません。残された機能を維持するために、心身の自立に向けた援助をお願いいたします。入居者・利用者の考え方や感じ方を評価したり分析したりせず、あるがままに受け入れてください。ペースを合わせて、決して急がせないでください。また、否定的、命令的、強制的な口調は禁物です。時に興奮して罵声を浴びせたり、暴力を振るったりされる入居者・利用者もおられます。落ち着いて冷静に判断し、困った時は職員におっしゃってください。

視覚障害者への対応のポイント

「おじいちゃん」「おばあちゃん」ではなく、「〇〇さん」と名前で呼びかけ、用事をする時は「〇〇さん、今から△△をします」「〇〇さん、△△へ行きませんか」など、お名前ですべて呼びかけてから、はっきり具体的に伝えてください。方向や指示も、はっきりと正確に。「そこ」「あちら」では

わかりません。歩行介助の時は足元の状況を詳しく説明し、今どこを歩いているのか伝え、手すりのある場所では手すりを、他の場所では介助者の肘を持ってもらい、少し前を歩くようにし誘導してください。

聴覚障害者への対応のポイント

視線を合わせるか、軽く肩を叩くなどして入居者・利用者の注意を引いてから、ゆっくり・はっきりと短い文章で話かけてください。

顔の表情を豊かに、身振り手振りを加えて話すと効果的です。

耳元で大きな声で話すと聞き取れる場合があります。低めの声で話す方が聞こえやすく、話が伝わっているか確認してください。

車椅子を使用されている入居者・利用者の対応のポイント

フットレスト（足を乗せる部分）に足を乗せておられるか確認してください。手は膝の上に置いていただけてください。（車輪に巻き込まれるのを防ぎます）背もたれにもたれていただき、ズリ落ちしていないかも確認してください。衣類が外に出て車輪に巻き込まれることのないように、衣類にも注意してください。ブレーキの掛け方や押し方（動かし方）を確認してください。車椅子を押す（動かす）際には、「動きますよ」などとお声を掛けていただき、急に押す（動かす）ことはしないようにお願いいたします。「ゆっくり急がず押す（動かす）」をお願いいたします。

車椅子を止めた際は、必ずブレーキを掛けてください。色々なタイプの車椅子がありますので、使用について不明な点は、介護職に使用方法を確認いただいてから、ボランティア活動に入ってください。



7, 永寿園とよなかの施設案内

特別養護老人ホーム永寿園とよなか
養護老人ホーム永寿園とよなか
短期入所生活介護（ショートステイ）
えいじゅ・とよなか保育園
永寿園とよなか診療所



【永寿園とよなかまでの交通手段】

◎ 北大阪急行線「桃山台駅」からお越しの方

北大阪急行 桃山台駅 より 徒歩10分 西方面へ 東泉丘3（交差点）を右折
3番乗り場 阪急豊中・曽根行 東泉丘小学校前（バス停）下車 徒歩5分

◎ 阪急宝塚線「豊中駅」からお越しの方

阪急バス（桃山台方面〔旭丘経由〕）
「熊野町東」停留所下車 徒歩10分

〒560-0084

豊中市新千里南町3-2-122

電話 06-6840-2211

FAX 06-6840-2214

E-mail eijyuentoyonaka122@seagreen.ocn.ne.jp

URL <http://www.osj.or.jp/eijyuen/index.html>



社会福祉法人大阪府社会福祉事業団



永寿園とよなか



永寿園とよなか 〒560-0084 豊中市新千里南町3-2-122
TEL 06-6840-2211 FAX 06-6840-2214

- ・養護老人ホーム
- ・短期入所（ショートステイ）
- ・診療所
- ・特別養護老人ホーム
- ・通所介護（デイサービスセンター）

